

# 事務事業評価シート(平成21年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
事務事業名		子ども未来 課	越川昌信	橋間正文
青少年育成センター事業		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H20以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつま、あつたかいまち	(節) 1 のびのび育とう、育てよう	
	個別計画	(基本計画) 「子育てするならこの町」といえるまちをめざす		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
青少年問題審議会及び地方青少年問題協議会設置法		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
青少年問題協議会、青少年育成センター運営協議会、防犯グループ連絡協議会の開催。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託	
		<input type="radio"/> 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
委員	町民	青少年の健全育成のため、指導等について各機関との連絡調整を図る。

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>										会計名	一般	会計		
細目名 青少年育成事業					細目名					細目名				
予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業
	10	6	1	1										

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度決算	21年度実績(見込)	22年度計画	備考(全体事業費など)
総コスト		千円	3,554	5,180	5,993	
コストの内訳	直接事業費		205	1,724	1,859	
	所属内間接費		20	52	100	
	人件費		3,329	3,404	4,034	
投入人員	正職員	人/年	0.36	0.36	0.36	
	嘱託員			0.30	0.30	
財源内訳	国・県支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,554	5,180	5,993	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>						
事務事業を構成する業務	手段(事務事業整理シートより)	活動指標(手段の数値化)	単位	20年度実績	21年度見込	22年度目標
1 青少年問題協議会	協議会・連絡会の開催による	青少年問題協議会	回	3	3	3
2 青少年育成センター運営協議会		青少年育成センター運営協議会	回	1	1	1
3 防犯グループ連絡協議会		防犯グループ連絡協議会	回	1	1	1
4						
5						

(ソフト事業) (B面)

事務事業名 [ 青少年育成センター事業 ]

6 事務事業の実績 <Do③>		20年度実績	21年度実績(見込)	22年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位				
青少年悩み相談	件	5	183	150	

7 事務事業の事後評価 <Check>		(ソフト事業)			担当の把握している課題
チェック項目		該当項目に「○」			
必要性	需要への対応性	住民ニーズは	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	把握なし
		緊急性は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	
	町の関与の必要性	利用者・対象者数は	<input type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 減少	横ばい
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	把握なし
妥当性	サービス水準の妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	把握なし
	連携の可能性	他課で類似の事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		他の事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	あるが困難
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	あるが困難
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	あるが困難
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		受益者負担を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
有効性	目標の達成度	成果指標が明らかで	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	
		前年より成果が上がって	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない	横ばい
	持続の可能性	継続することによる効果は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない	<input type="radio"/> 測定困難
市場化の可能性	既に全部委託済	更なる委託化が可能である		<input type="radio"/> 委託化の余地があり	委託化は不可能
	市場化テストの導入について検討する余地がある			<input type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性		1.改善の余地はない		<input type="radio"/> 2.改善の余地がややある	
		3.改善の余地が多い		4.抜本的な見直しが必要	

## 事務事業評価書

### 8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action> 青少年育成センター事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 委員経費、人選の効率化を考えると、さまざまな委員会を組織するより、設置が義務となっている青少年問題協議 会で協議するといった形が効率的ではないかと思われます。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 21年度より相談専門員を配置し、相談業務を充実させている。今後もこの運営状態を継続していく。									
所管評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 関係団体と十分連携を取りながら取り組んでいく。									
事業評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
現状を維持しつつ、より一層の事業改革を図りたい。									